

# 令和2年度 黒のり漁場栄養塩調査表(第10回)

分析日: 令和2年12月9日

漁場名	採水時刻	水温		比重		DIN( $\mu\text{g/L}$ )		PO4-P( $\mu\text{g/L}$ )		
		今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	
			12月2日		12月2日		12月2日		12月2日	
桑名	木曾岬	7:00	16.7	17.6	24.4	25.2	273	198	31	28
	伊曾島(新田)	7:30	15.1	18.4	21.4	26.0	218	125	29	20
	城南	6:30	16.1	16.4	23.7	24.4	157	139	27	22
鈴鹿	下箕田	9:00	15.1	15.8	24.4	25.2	44	22	11	11
	浜田	8:00	15.0	16.2	24.4	25.2	99	19	45	11
	白子	8:30	14.7	15.7	25.2	25.2	53	27	24	16
津市		9:00	14.1	16.1	25.2	25.2	15	58	13	13
松阪	東黒部			16.3	25.2	25.2	40	62	12	14
伊勢湾	大淀	7:00			25.2	25.2	77	108	18	22
	今一色(台場)		13.8	13.8	25.2	25.2	42	98	13	20
	今一色(八幡)		13.8	13.8	25.2	25.2	59	79	15	18
鳥羽磯部	桃取町	7:00	15.1	16.8	25.2	25.2	44	43	13	12
	大答志	—	—	15.8	—	26.0	—	46	—	9
	答志上手		15.7	16.3	25.2	26.0	44	38	13	10
	菅島(表)	8:40	15.5	15.9	26.0	25.2	102	61	14	14
	菅島(裏)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	安楽島	8:00	16.7	17.5	26.0	26.0	46	41	11	11

※DIN…アンモニア態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素の総量

※PO4-P…リン酸態リン

※白抜きは不明、-は欠測

【ノリの生育条件】		水温	比重	DIN( $\mu\text{g/L}$ )	PO4-P( $\mu\text{g/L}$ )
好適条件		8~13	15~24	100~400	15~50
概況など	白子港の水温と比重は、平年並みで推移しています。潮位は、潮位図に比べて+1cm~+22cmで推移しています。鈴鹿地区においてユーカンピア属の植物プランクトンが確認されました(ユーカンピア属の発生密度は、70~120 cells/mL)。本種は、大型の珪藻プランクトンで低密度でも色落ちの原因となる可能性があるため、今後の動向に注意してください。				
桑名	栄養塩量は、十分量です。				
鈴鹿	栄養塩量は、浜田で十分量です。その他で少なくなっています。				
中勢	栄養塩量は、津市で極端に少なくなっています。松阪で少なくなっています。				
南勢	栄養塩量は、大淀でやや少なくなっています。今一色で少なくなっています。				
鳥羽	栄養塩量は、菅島(表)で十分量です。その他で少なくなっています。				

☆栄養塩動向調査(PDF版)はインターネット上で見ることもできます。

【パソコンの場合】鈴鹿水産研究室 <http://www.pref.mie.lg.jp/suigi/hp/16172017481.htm>

【携帯電話の場合】 <http://osakana-mie.com/producer/phone.cgi>

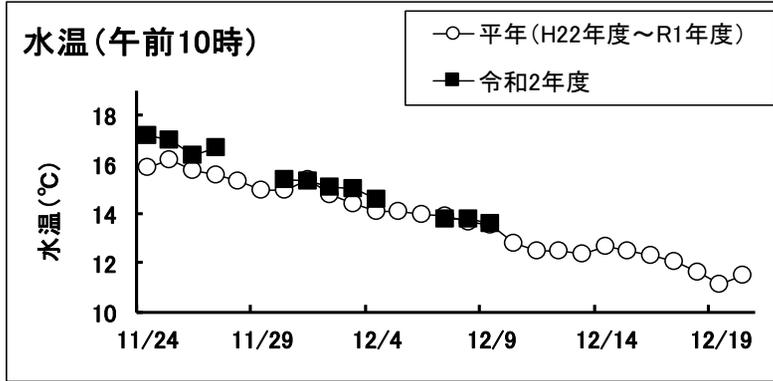
上記アドレスをbookmark登録してご利用頂くか、右側の二次元バーコードをカメラ付携帯電話で読み取り表示されたアドレスにアクセスしてください。

\*機種によっては利用できない場合があります。

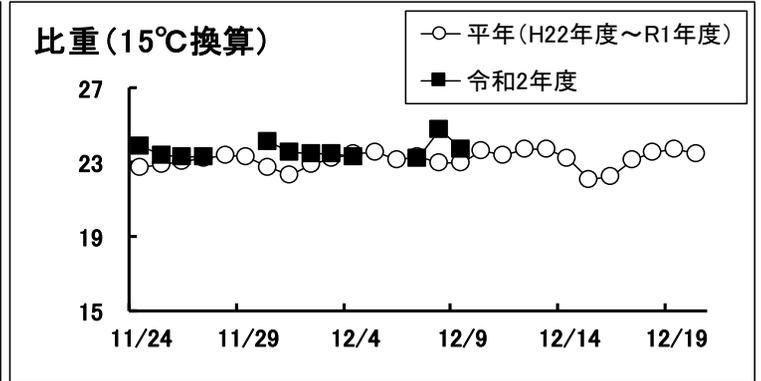


## 令和2年度 黒のり漁場調査(第10回)

【白子港の水温】



【白子港の比重】



【プランクトン】

採水日	漁場名	発生密度(cells/mL)
12月7日	木曾岬	85
12月8日	伊曾島(新田)	215
12月8日	城南	170
12月9日	鈴鹿市	下箕田 255
12月8日		浜田 560
12月8日		白子 420
12月8日	津市	70
12月8日	松阪 東黒部	110

採水日	漁場名	発生密度(cells/mL)
12月8日	大淀	35
12月8日	今一色(台場)	40
12月8日	今一色(八幡)	120
12月8日	桃取	30
—	大答志	—
12月8日	答志上手	105
12月8日	菅島	表 45
—		裏 —
12月7日	安楽島	0

【名古屋港の潮位偏差(速報値)】

(気象庁)



潮位偏差: 計算上の予測潮位と実測潮位との差

プラスの時は実際の潮位が予想潮位より高く、マイナスの時は低いことを示す。